

花火&芋煮会

このところすっかりイベント開催とその成功に気をよくしているホ号棟。
この秋の行事のひとつとして、山形名物の「芋煮会」を実施しようという気運が
誰から言うともなく起りました。

理事会で決めてしまえば早いもので、あっという間にスタッフが確定して、
プランが固まりました。調布市の花火大会が9月29日（土）だから、その日に合わせて
夕方から実施しようということになりました。

アツアツの芋煮を食べた頃に、ドカーンと大輪の花火が咲くから盛り上がるぞ…
という思惑。

当日はホ号棟行事につきものの「雨、雨……」
どうなるかなどということには一切関係なく
芋煮会の準備が朝から進められる。

「お花見」、「七夕まつりとそうめん」、
そして「芋煮会」とくれば、もうイベントのプロに
なったも同然。

雨が降ったら、集会室を会場に決めていたけれど
男衆が発奮して集会室前の広場にブルーシートで
屋根を創ってしまった。

花火大会主催の市役所も度胸よく、1時過ぎには「開催決行」をドカーンとアピールする。

どれほどの人が集まって来るか、若干の不安もありましたが、小さい子どもを
連れた人や一升ビンを抱えた人などが、三々五々会場に集ってきます。

その数 115 名。

雨が降ってもブルーシートの屋根もあるし、集会室だって使えるし…。

芋煮はたくさんの女性の協力で「山形風の具たくさん」が
鍋や寸胴にびっしり。嬉しそうにそれをお椀に受けて
友達と語り合う人。

持ち込んだお酒をチビリチビリと飲みながらこれからの
ことを隣席の人とささやきあう人。

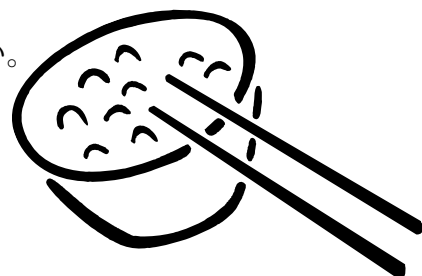
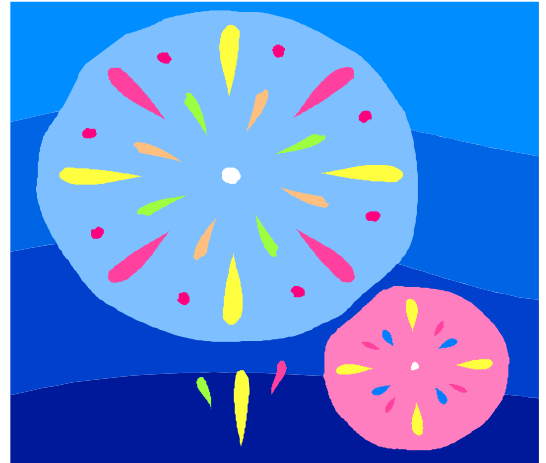
「こんな機会を待っていたんですよ！」、

「これからもみんなで楽しく過せる場所を設定して欲
しいな…」

初めて見る人も夜の宴ではすぐにお知り合い。

ぐつぐつ煮えた鍋を囲んだ談笑が続く中、

調布市花火大会も色あざやかに始まる。なんと芋煮会の会場でも
大輪の花火を鑑賞できるのです。



集会室前の会場からは給水塔と5号棟の間に広がり、くすの木の大樹の上に花火が顔をのぞかせる。芋煮もなくなった頃合もよく、ドカーンドカーンの花火の下、子ども達は実行委員会が準備した家庭用の花火を楽しむことになりました。

子どもには、自分で持ったその花火が明るくはじけることの方が大輪の花火よりも興味が湧くらしい。

夕方5時から2時間半、ホ号棟の「花火つき芋煮会」は終わりました。

スタッフのみなさん、ご苦労さまでした。そして本当にありがとうございました。

「来年はおにぎりもつけてネー」とかわいい子がおねだりしていましたっけ。

